

赤松学舎 世田谷区立松沢中学校  
学校運営協議会だより no.1

令和8年6月発行



いつも松沢中学校運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。  
今年度(令和8年)から、旧学校運営委員会は新たに『学校運営協議会』という名称で  
学校運営に関わる意見交換の場として大切な役割を果たしてまいります。

今年度から、学校運営協議会で話し合われた内容を皆さんに共有する目的として  
この『学校運営協議会だより』の発行をいたします。

< 第1回 赤松学舎 松沢中学校 学校運営協議会 >

令和8年5月22日(金) 16時30分～ 松沢中学校 会議室にて

①校長挨拶

本日はありがとうございます。昨年度までの学校運営委員会から、新たな組織としての  
学校運営協議会の発足となりました。詳細については事前にお送りした資料でも説明があ  
りましたが、概要について説明させていただきます。(※概要説明)

システムの変更はあっても、大まかな内容としては学校運営委員会の内容を踏襲しながら進  
めていきたいと思っておりますので、今年度もよろしく願いいたします。

②学校運営協議会委員自己紹介

※5月22日の会議、佐藤委員は欠席

委員長	直田先生(大学教職員・元中学校教員・元世田谷区教委・元中学校長)
地域代表	佐藤委員(松沢中学校卒業生代表)
地域代表	松下委員(都立松原高校校長)
地域代表	白石委員(松沢児童館館長)
保護者代表	川上委員(元PTA会長)
保護者代表	川邊委員(現保護者・小学校保護者代表)
保護者代表	瀬戸口委員(現PTA会長)
学校代表	大塚委員(松沢中学校校長)
事務局	林副校長(松沢中学校副校長)



### ③学校運営協議会委員長選出

- ・互選により、直田委員（昨年度学校運営委員長）に決定。
- ・学校運営協議会委員長挨拶  
「システムは変われど、理念は変わらず」ということで引き続きよろしく申し上げます。

### ④学校より（校長から）

- ・CS（コミュニティスクール）の体制について。
- ・学校評価については、日本大学文理学部の杉森ゼミとの関係を継続して行う予定。
- ・学校経営方針等の説明。今年度の重点目標は「しなやかな心（非認知能力）の育成」→子どもや社会の変化を捉え、様々な課題と向き合いながら研究を進めていきたい。  
先日の校内研修では、東京大学名誉教授の汐見稔幸先生から「非認知能力」についてのご講義をいただいた。「学び上手が、生き上手」
- ・学校改築について。今年度（令和8年度）は基本設計と改修計画を立案予定。
- ・創立80周年について。来年度（令和9年度）に周年行事（合同式典）実施予定。  
→記念品作成？イベント実施？等、具体的な内容については今後検討していく。

### ⑤委員意見交換

#### ○松沢児童館より

- ・赤ちゃん交流プログラム（7月8日（水）、11日（金）実施予定）の紹介  
→昨年度、生徒たちからも好評だった。赤ちゃんのお母さんたちの感想も良好な内容だった。
- ・ほっぷすペース通信の紹介（不登校生徒等の支援について）  
→5月より実施。早速1名の利用あり。場所というより、人に懐いてほしい。魅力は人。

#### ○松原高校より

- ・今年度は、昨年度までのクラス増で多かった1クラスが少なくなった。（現在の生徒数に見合うようにするため、人口減少で子どもの数が減るのは分かっているので、学校数を増やすのではなく、クラスを増やすことで東京都は対応している事から昨年度までクラス増があった。）→正規の人数に戻った。学校全体は落ち着いている。

#### ○保護者・卒業生保護者の委員より

- ・わが子の様子、小学校の予定等の情報交換

#### ○PTA 会長より

- ・松沢中の素晴らしい取組を発信して、多くの親の理解を得られるようにしてほしい。  
→ある学校の話『保護者からの苦情により教員が生徒指導できないケースがあった。』

## ⑥全体協議

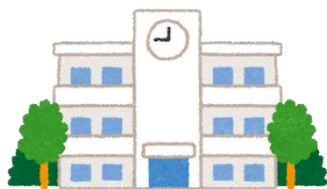
- ・ありのままに学校の取組等を伝えていけば、よりスムーズに地域・保護者と連携・協力できるのでは?(せっかくの学校の素晴らしい取組が、保護者に知られていないことが多いのでは?) → 第1回保護者説明会や学校 HP 等の場で学校の取組を広く伝えていく。
  - ランチミーティングなどの保護者と先生の交流の機会を検討してみてもは?
  - (飲酒がある会に関しては、トラブルも起こりやすく考える必要もあるとの意見も)
- ・子供の育成、教育の意識改革について「松沢中は規律が厳しい」という保護者の声もある。運動会の入場行進+ラジオ体操など。「今時珍しい」とも言われている。
  - 生徒が先輩に憧れ、自主的に松沢中の伝統を引き継いでいるという一面もある。
  - 学校としては生徒の主体性を尊重しながら指導するようにしている。
- ・今、子どもたちを見ていると『心が繊細で、理解や想像が苦手』な生徒が増えているように感じる。脆く壊れやすい心の生徒も多いので大人は日々の生活の中で、気をつけて見守る必要があるように感じる。
  - 先日の校内研修の中でも、「最近の小学生に、昨日の家でのお手伝いを聞いたら『ボタンを3回押した』と、真面目に返答する子供がいた」という話を聞いた。
  - 不安を抱えて学校に通えない生徒も増えてきている状況から、今年度の重点目標を「しなやかな心(非認知能力)の育成」とした。
- ・不登校生徒の対応等について
  - この問題は、全国的に増加しており、社会的な課題とも捉えられる。
  - 当事者のうまく言語化できないもやーとした思いにどう対応していくべきか?
  - 松沢中では、STEP ルーム、ほっぷスペースの活用等、地域とも連携しながら組織的に対応していく。以前と違い、担任一人で抱えきれない状況ではない。

## ⑦学校運営協議会委員長より(まとめ)

- ・様々な課題もあるが、小→中→高とステージが変わり、頑張ろうとする子供たちの気持ちを大切にしたい指導ができるよう、学校を支援していきたい。
- ・本日、来校した際、松沢中の生徒の部活に取り組む表情を観て、また、気持ちの良いあいさつをしてもらって心が洗われた。

## ⑧その他(今後の予定)

- ・委任状は次回以降配布予定
- ・次回以降、開始時刻は17:00~



### 今年度の開催日時(予定)

- ① ~~5月22日(金) 16時30~~~
- ② 7月10日(金) 17時00~
- ③ 10月9日(金) 17時00~
- ④ 11月27日(金) 17時00~
- ⑤ 1月27日(水) 17時00~